

ふだんのくらしをしあわせに

「社協」は、社会福祉協議会の略称です

# しばた社協だより

## 支える人を支える募金



じぶんの町に、困っている人がいる。  
その人たちが一番必要としているもの、  
それは人のチカラです。  
手をとって、支えてくれる人の存在です。  
では、その活動資金はどうしましょう。  
赤い羽根共同募金は、  
困っている人を「支える人を支える募金」。  
それが、赤い羽根の役割なのです。



赤い羽根共同募金のしくみについては  
2ページをご確認ください。

令和6年  
9月17日

編集・発行



社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

しばた社協だよりは、ボランティアグループ音声訳「むぎの会」により音声訳されています。

9 月号

No. 429



# 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします



運動期間 **10月1日～12月31日**

今年も新潟県共同募金会では、上記の期間において「赤い羽根共同募金運動」が実施されます。新潟県共同募金会よりあらかじめ下記目標額が新発田市の目標額として示されています。新発田市共同募金会でも、より良いまちづくり活動を推進していけるよう、皆さまからのご理解・ご協力をお願いいたします。



## 新発田市目標額

**13,279,000円**

・新潟県の福祉のために…………… **5,743,000円**  
 ・新発田市の福祉のために……… **7,536,000円**

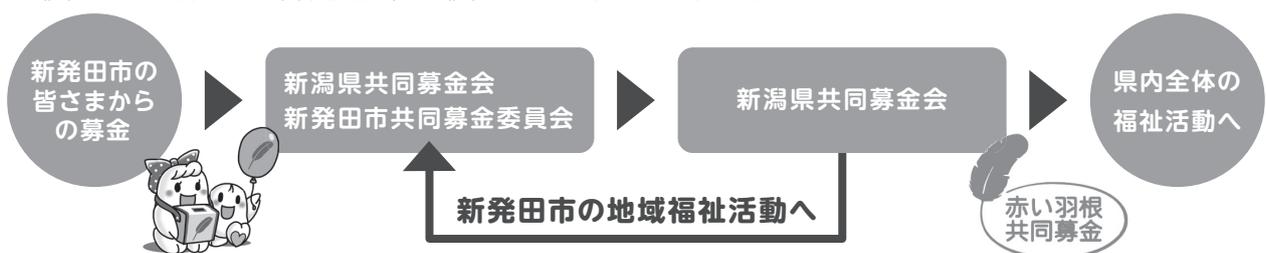
## 目標額は、なぜ金額が決められているの？

共同募金は、集める前に使いみちを決める「計画募金」です。今年集めた募金を来年の活動に役立てるため、あらかじめ必要な募金額の計画を立ててから募金活動を行う仕組みになっています。



## 募金したお金はどのように新発田市に使われるの？

市内で集められた募金は、新潟県共同募金会へ送られ、募金額に応じて県内全体に使われる募金と新発田市に使われる募金に分けられます。



## 使いみちはどうやって決めているの？

市内で地域福祉活動を行う福祉団体やボランティアグループを対象に「公募」を行い、募金の趣旨にあった活動に使われているか「審査」をしてから「助成」をしています。



# 赤い羽根共同募金助成金 交付式を行いました

令和6年6月27日、新発田市生涯学習センターにおいて、市内の32団体に新発田市共同募金委員会二階堂会長より助成金目録を贈呈しました。



令和6年度に助成を受けた団体名は社会福祉協議会ホームページにも掲載されています。

皆さまからお寄せいただいた赤い羽根共同募金は、新発田市や新潟県内の福祉活動の推進に役立てられています。

## 地域活動支援センター等助成

特定非営利活動法人作業所あゆみ／特定非営利活動法人しば草会／特定非営利活動法人新発田市手をつなぐ育成会 かどるあっぷ／特定非営利活動法人自立生活センター新発田／特定非営利活動法人はとの会／特定非営利活動法人フリースペースみのり

## 地域福祉推進事業・小地域福祉活動事業

社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

## 福祉団体等活動助成事業

新発田市老人クラブ連合会／新発田市自治会連合会／新発田市民生委員児童委員連合会／新発田市身体障害者団体連合会／新発田市ボランティア連絡協議会／地区民生委員児童委員協議会（10地区）

## 地域支え合い活動支援事業

橋本自治会／御幸町二丁目町内会／新発田市観光ガイドボランティア協会／西園町三丁目町内会／音声訳 むぎの会／米子小学校区避難所運営委員会／黒岩自治会／旧米倉小学校区コミュニティ／五十公野杉原町内会／七葉中学校避難所運営委員会

## 「24時間テレビ47 チャリティー募金の報告」

8月26日(月)～9月1日(日)の  
期間で募金箱を設置しました。

**6,080円**

ご協力ありがとうございました

### 〈募金箱設置場所〉

- ・イオン新発田店
- ・新発田市ボランティアセンター
- ・高齢者福祉センター金蘭荘

## 高齢者福祉センター 金蘭荘からのお知らせ

**10月1日(火)より  
開館時間を一部変更します**

夜間の開館時間を午後5時30分～午後9時30分としていますが、光熱水費等のコスト削減のため、利用予約のない場合に限り、閉館とさせていただきます。

※利用5日前までにご予約がなかった夜間の時間帯を閉館とし、閉館日が確定した時点で館内に提示します。

## 手話奉仕員養成講座 (基礎課程)

手話に興味のある方、  
一緒に学んで  
みませんか？

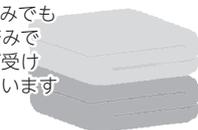


- ◆日程 11月18日～3月24日の25日間  
※日時詳細はホームページに掲載します。
- ◆対象者 手話奉仕員養成講座入門過程修了者等
- ◆受講料 無料(テキストがない方は  
テキスト代3,300円)
- ◆修了証書授与の条件 講義・実技それぞれ8割以上の出席
- ◆申込締切 11月8日(金)
- ◆申込み先 新発田市社会福祉協議会  
TEL 23-1000

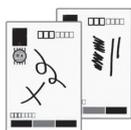
## 善意のご寄付ありがとうございました

社協だより4月号で寄付の記事を掲載したところ、たくさんのタオル・書き損じハガキ等が集まりました。ご協力いただいた皆さまにお礼を申し上げます。今後もご寄付を受け付けています。引き続きご協力をお願いします。

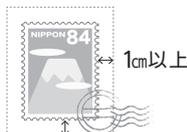
・使用済みでも洗濯済みであれば受け付けています



〈タオル〉



〈書き損じハガキ  
未使用ハガキ〉



〈使用済切手  
未使用切手〉



〈受付できるもの〉  
・ダウン率50%以上のもの  
・穴が開いている  
・汚れている

〈羽毛製品〉

しばた社協だよりは皆さまからいただいた『赤い羽根共同募金』の配分金と社協会費で発行されています。

令和6年度

# 若者支援セミナー

主催：新発田市社会福祉協議会、新発田市  
共催：下越地域若者サポートステーション

日時 **10月26日(土)** 10時～12時(受付9時30分～)

会場

健康長寿アクティブ交流センター 屋内広場

(新発田市中央町3-13-3)

※オンラインでの参加も可能

対象

ひきこもりでお悩みの本人や家族、  
相談支援機関 等

先着 **70名**  
参加費 **無料**

## < 話題提供 >

### ひきこもる心を知る

～その人らしい生き方を応援するために～

話題提供者：神戸学院大学総合リハビリテーション学部

准教授 **川本 健太郎さん**

## < トークセッション >

### よりそうカタチと安心の伝え方

～いろんなことにぶつかり経験をして今、想うこと～

話し手：フォルトネット 代表 **関口 美智江さん**聞き手：**川本 健太郎さん**

## < パネルディスカッション >

### 心を動かしたはじめの一步

～ひきこもりライフは安心からできている～

パネリスト：ねころんだに集う仲間たち

コーディネーター：**川本 健太郎さん**

## 『フォルトネット』

十日町市で当事者・体験者家族が運営している非営利団体。不登校やひきこもりで不安や悩みを抱えている方々と共に、「経験者同士だからこそ共有して分かち合えることがあるはずだ!」と、ときには学び、お茶飲みをしながらおしゃべりし、一緒に泣き笑いしながら活動している。

## 『ねころんだ』

十日町市にある、ひきこもりさんのオープンスペース。当事者と経験者の居場所として自由に利用できる。自分達の想いや活動を知ってもらうため「ねころんだ通信」や「ねころんだレポート」を作成したり、「ねころんだ展」を開催している。

会場隣り展示コーナーにて  
“福祉のアート展”  
開催します!!

10/25(金)～31(木)



## 【申込み・問い合わせ先】

新発田市社会福祉協議会

TEL 0254-23-1000

FAX 0254-26-3300

Mail [chiiki@shibata-shakyo.or.jp](mailto:chiiki@shibata-shakyo.or.jp)

Googleフォームから  
も申込みできます

問い合わせ先  社会福祉法人 **新発田市社会福祉協議会**

〒957-0054 新発田市本町4-16-83 (ボランティアセンター内)  
TEL: 23-1000 FAX: 26-3300 (土・日・祝日を除く)

ホームページ <https://www.shibata-shakyo.or.jp>  
社協だより (PC版) がご覧になれます

